

知多半島総合医療センター（旧 半田市立半田病院）の整備状況

1 病院の名称等

開設者	地方独立行政法人知多半島総合医療機構（設立許可申請中） 理事長（予定者） 渡邊 和彦					
名称	知多半島総合医療センター（旧 半田市立半田病院）					
所在地	半田市横山町 1 9 2 番地					
開設予定日	令和 7 年 4 月 1 日					
病床数	精神	感染症	結核	療養	一般	合計
	0	0	0	0	4 1 6	4 1 6 床

2 周産期関連部門

区分	一般産科病床	新生児集中治療管理室 (NICU)	新生児集中治療管理室 後方病床(GCU)
病床数	2 7 床	3 床	6 床

※病床数の要件なし

3 診療科目

【要件】産科及び小児科（新生児医療を担当するもの）を有するものとし、麻酔科及びその他関連診療科を有することが望ましい。

救急科、内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、脳神経内科、糖尿病・内分泌内科、**小児科**、精神科、外科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、心臓外科、血管外科、泌尿器科、**産婦人科**、耳鼻いんこう科、眼科、皮膚科、放射線科、**麻酔科**、リハビリテーション科、歯科口腔外科、病理診断科

4 設備

【要件】（産科）次に掲げる設備を備えることが望ましい。

緊急帝王切開術等の実施に必要な医療機器、分娩監視装置、超音波診断装置（カラードップラー機能を有するものに限る。）、微量輸液装置、その他産科医療に必要な設備

（小児科）新生児病室を有し、次に掲げる設備を備える NICU を設けることが望ましい。

新生児用呼吸循環監視装置、新生児用人工換気装置、保育器、その他新生児集中治療に必要な設備

産科部門	台数
帝王切開術等に必要な機器	
麻酔器	1 台
周手術システム（手術・麻酔記録等）	一式
分娩監視装置	1 1 台
超音波診断装置（カラードップラー機能を有する）	2 台
微量輸液装置	5 台
その他必要な設備	
心電図モニター	

新生児部門	台数
新生児用呼吸循環監視装置	3 台
新生児用人工換気装置	6 台
保育器	3 台
その他必要な設備	
救急蘇生装置	1 台
酸素濃度測定装置	2 台
光線療法器	5 台
微量輸液装置	2 台
経皮的酸素力圧監視装置又は経皮的動脈血酸素飽和度測定装置	5 台

5 職員

区分	要件	状況
小児科	24時間体制を確保するために必要な職員を配置することが望ましい。	常勤 5名、非常勤 1名 (当直 1名 日直(休診日) 1名)
産科	帝王切開術が必要な場合に迅速(おおむね30分以内)に手術への対応が可能となるような医師(麻酔科医を含む。)及びその他の各種職員を配置することが望ましい。	常勤 5名 (当直1名、日直(休診日) 1名) 麻酔科医 8名 (病院内にて7名配置、夜間オンコール1名・日直(休診日) 1名)
新生児病室	次に掲げる職員を配置することが望ましい。 ① 24時間体制で病院内に小児科を担当する医師が勤務していること。 ② 各地域周産期母子医療センターにおいて設定した水準の新生児医療を提供するために必要な看護師が適当数勤務していること。 ③ 公認心理師等を配置すること。 ④ NICUを有する場合は入院児支援コーディネーターを配置することが望ましい。	①常勤 5名、非常勤 2名 (当直 1名 日直(休診日) 1名) ②NICU 3床：看護職員1名 周産期センター 7床：看護職員1名 ③臨床心理技術者 院内に2名配置 ④有資格者なし

6 連携機能

〈搬送受入者の状況〉

	新生児搬送
搬送受入数	6件

総合周産期母子医療センターである名古屋大学病院や日赤名古屋第一病院や安城更正病院と連携を図っている。また、知多半島医療圏において唯一の地域周産期母子医療センターとして、地域の助産院やクリニックと連携を図っている他、セミオープンシステムを取り入れて連携を行っている。